

議案の紹介

今定例会に提出された議案等 26件は全て可決され、成立しました。(4面の賛否一覧表をご参照ください) 以下、成立した議案の一部を紹介いたします。



芝生の張り替えが予定されている仙台スタジアム(泉区)

芝生張り替え工事に先立ち、張り替え用の芝生育成を委託するため九百万円を計上するもの

業等に係る工場等の緑地面積率等について、「工場立地法」に基づき公表された準則に代えて適用準則を定めるもの
児童福祉施設条例の一部を改正する条例
八本松児童館を設置するとともに、八乙女児童館の位置を変更するもの
観光交流施設条例の一部を改正する条例
泉ヶ岳キャンプ場及び泉ヶ岳野外活動センターを廃止するもの
工事請負契約の締結に関する件(仮称)元鍛冶町公園地下自転車駐車場建設工事
本市所有の土地及び建物(看護専門学校)を処分するもの
指定管理者の指定に関する件
市民会館等五十施設について指定管理者を指定するもの

民主クラブ 仙台

佐藤 わか子 議員

指定管理者に対する第三者評価制度の導入を
公の施設の管理運営に導入された指定管理者制度について、より市民サービスの向上に結びつけるために第三者による評価システムを取り入れるべき。
今後の評価のあり方については、公募・非公募を問わず、より客観的な視点を確保しながら本市が責任を持って適切に評価を行う

置くこと重要と考慮しており、ご指摘の第三者の視点導入も含め、現在、新たな評価手法の検討を行っている。
自転車利用のマナーアップ 対策の徹底を
放置自転車対策は、駐輪場の利用に限界がある。自転車の利用に関するマナーアップ対策について、警察や関係部局の連携のもと、総合的に継続的な取り組みが必要と考えるが、いかがか。
これまで啓発活動や指導等様々な活動を実施してきたが、今後、庁内の関係部局同士、警察、関係団体と連携しながら、更なるマナーアップに向けて定期的な街頭キャンペーンの実施や街頭指導を強化するなど、より具体的な取り組みを行ってまいりたい。



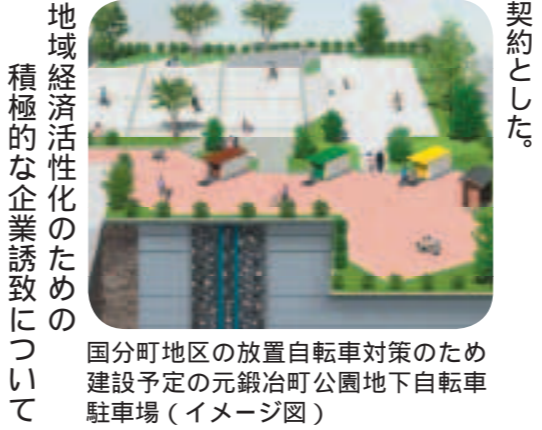
荒町地区の自転車走行レーン(若林区)

その他の主な質疑項目
元鍛冶町公園地下自転車駐車場建設工事が随意契約になつた理由
東北初である荒町の自転車走行レーンの取り組みを拡大すべき
仙台駅西口ペDESTリアンデッキ改修工事のJ Rへの委託の経緯と理由
文化行政の基本的指針の策定を障害児放課後ケア事業の拡充を

改革ネット・民

西澤 啓文 議員

平成十九年度補正予算(一般会計)(主な補正予算項目) 来年度開催の「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」に向けて、仙台駅西口ペDESTリアンデッキのタイル舗装等の改修工事をJ R東日本に委託するため五百万円を計上するもの
仙台スタジアム(ユアテックススタジアム仙台)内フィールドの



国分町地区の放置自転車対策のため建設予定の元鍛冶町公園地下自転車駐車場(イメージ図)

が困難であることや、公園との調和に配慮する必要があることからプロポーザル方式により設計候補者を選定した。また、プロポーザルで選定された機器は製造施工を一体として行うメーカーのものであり、他の事業者の参入がほとんど見込めないことから一般競争になじまないかと判断し、工事は随意契約とした。
「企業立地促進法」の施行により、企業誘致における地域間競争は、より激しさを増すと思われる。地域経済活性化のためには市内の既存企業の流出を確実に防ぎつつ、更に、より積極的に企業誘致に取り組むべきではないか。

経済や都市の活力を高めるため、市内への企業誘致や市域外への企業の流出を防ぐことは重要であり、更に大規模工場等の近郊への立地も、市内企業の取引拡大や人口の増加、消費の拡大という経済効果が見込まれる。助成制度による支援、県や大学等との連携、都市機能の充実活動を通じた企業誘致等に努力していきたい。
平成二十年度の予算編成方針
アエルの保留床の売却

シテイセルスや市民の施策理解に向けた広報について
今回、「広報官」を新設し民間会社からの人材を任用したが、広報官設置の意図と市職員としての職務について伺う。
民間からの人材の登用により、民間での知識、経験が本市の広報活動に活用され、市民とのつながることから、ソフトバンク

きぼう

熊谷 善夫 議員

元鍛冶町公園地下に駐輪場を整備する件について、随意契約でも十分に活用するため、課長職とし、業務内容をわかりやすく示すため「広報官」という名称とした。工事契約の適正なあり方を求めて
グループとの人材交流により採用したものである。
民間で培われた高度な専門知識を十分に活用するため、課長職とし、業務内容をわかりやすく示すため「広報官」という名称とした。工事契約の適正なあり方を求めて



改修予定のJ R仙台駅西口ペDESTリアンデッキ

元鍛冶町公園地下に駐輪場を整備する件について、随意契約でも十分に活用するため、課長職とし、業務内容をわかりやすく示すため「広報官」という名称とした。工事契約の適正なあり方を求めて
元鍛冶町公園地下に駐輪場を整備する件について、随意契約でも十分に活用するため、課長職とし、業務内容をわかりやすく示すため「広報官」という名称とした。工事契約の適正なあり方を求めて

代表質疑

公明党

鈴木 広康 議員

原油の価格が高騰し、国民生活に深刻な影響を及ぼしている。低所得世帯に対する負担軽減策を講ずべきと考えるが、いかがか。
生活困窮者を対象とした支援策について、国において緊急対策の検討が大詰めに入っており、この動向を見据えながら、必要に応じ適切な対応をしてまいりたい。

大規模工場の本市近郊への立地は、様々な経済効果が期待できることから、社員や家族の方々に対して、本市の優れた生活環境について積極的にPRしていきたい。仙台港の今後の整備についても、コンテナ貨物等の増加を踏まえたものとなるよう、宮城県に申し入れていくほか、仙台港インフラエンジニア整備を国とともに推進

その他の主な質疑項目
市職員の不祥事に対する対応
公園地下自転車駐車場建設工事
平成十九年度一般会計補正予算
市立看護専門学校財産処分
指定管理者制度導入の成果
市道路線の認定及び廃止
職員の給与に関する改正条例

社民党

小山 勇朗 議員

市長の就任以来、海外出張やキチン、家庭こみ有料化等様々な問題があった。トップダウンでの市政運営ではなく、市民の幸せ、市民の視点に立った市政を進めるべきであるが、いかがか。
市政運営は、政策の優先順位を考えた限られた経営資源を最

指定管理者の指定における委託料の考え方、また、事故等に対する責任、指定管理者の評価と公表について伺う。
委託料は、経費面だけでなく個々の施設の特性に合わせたサービス内容等、総合的な評価の観点から適正に積算している。賠償責任は指定管理者が負うことを協定書で規定しているが、このような事態を招かないよう最適な団体を選定し、適宜、指導監督に努めて



指定管理者により運営されている仙台市民会館

大限に活かし、課題に迅速・的確に対応することが重要だ。政策の立案・推進にあたっては、市民の幸福を究極の目標とし、市民の視点が立ち、市民の意向を尊重しながら市政運営を進めてまいりたい。指定管理者の指定は責任論含め慎重に

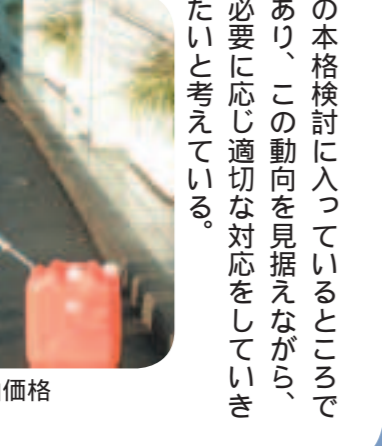
日本共産党

ふなやま 由美 議員

アエル事業の失敗の教訓を活かし市民の暮らしを優先に
アエル事業にこれまで五百十五億円の血税を投入する一方、敬老バス有料化など市民サービスは削ってきた。こうした開発会社のような事業こそ民間に任せ、市民の暮らしを守るべき。

その結果、仙台駅周辺の良好な景観形成が促進され、商業・ビジネスの中心地としての地域の質が高まり、市の経済活力が増大したものと考えている。
原油価格高騰から市民生活を守る施策を

灯油価格の高騰に苦しむ市民の生活を守るために、生活保護世帯や低所得者世帯などに「福祉灯油制度」を緊急に行うべき。
現在、国において緊急対策



高騰する灯油価格

その他の主な質疑項目
税制改悪に伴う介護保険の激変緩和措置は来年度も継続すべき問題の多い後期高齢者医療保険制度の四月実施を中止すべき
市立看護専門学校の廃止と民間譲渡は撤回すべき

市民教育委員会
付託された四議案のうち、第百八十六号議案は賛成多数で、他の三議案は全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決した。
「仙台のタペ」について男女共同参画推進センターの見直し案について

健康福祉委員会
付託された四議案のうち、第百七十八号議案は賛成多数で、他の三議案は全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決した。
市立看護専門学校の譲渡
低所得者向けの灯油支援策
市立保育所の民営化

総務財政委員会
付託された六議案は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。
人事委員会の勧告について
仙台スタジアムのネーミングライツスポンサーとの契約
民間との人事交流と広報官

経済環境委員会
付託された四議案のうち、第百七十二号議案は賛成多数で、他の三議案は全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決した。
工場緑地面積率の緩和と杜の都の環境をつくる条例との整合性
家庭こみ等有料化説明会

都市整備建設委員会
付託された七議案のうち、第百七十七号議案は、より公正で競争性を確保できる契約制度の導入を求める附帯意見を付けて賛成多数で、第百八十四号議案は賛成多数で、他の五議案は全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決した。